HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	国民社会の研究 第14巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	『鈴木榮太郎著作集 7（国民社会学原理ノート）』を出版した際のソースとなった原稿である（同書内での言及による）。
Issue Date	1961-12-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77622
Type	manuscript
File Information	I017_0114.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

14

HANKYU

MA
3

NOTE BOOK

國民社會の研究

第十四巻

（[illegible]）

昭和二十七年六月二十九日

KYOYEI

14

統治文化の紊乱
「書経」と統治文化
「口民考の倫理について」の要旨
政道の安定
統治なる政綱に
我政府の政道
南宋氏の政治経済史
パーソンスの政治統制の限界
官僚の不屈の力
社会構造と社会論について
口民社会との宗の州口民と口民社会の
別口民社会と民族的別口民社会。
コミュニティー口民社会と労働者

29¥　222120　19　18141310　81

統治文化の伝承

奈良の都を造成するのには大変な苦労があってであろうが、一世紀もたたぬ間に一部都京に都を変える理由は簡単なものではなかったであろう。然しそれが権力国体の移動には各国体が変ったためであろう。そこでは奈良广官僚はそのまま、京都广官僚となっていたであろう。

京都でも王朝官僚が平家广官僚に移ったのは容易ならぬ変質を伴ったであろうか。

京都武門官僚と鎌倉武門官僚との間の行政の移譲はどんな政務

/

変質を伴ったか。

鎌倉武門官僚と京都武門官僚との間の行政の移行は如何。

京都室町官僚と[illegible]信長の統治組織、秀吉の統治組織等の間における統治交代の移行の次第。

次に秀吉の統治組織は江戸幕府の統治組織にどんな移りゆきを示したか。　最後に江戸幕府官僚は明治新政府に何をひきついだか。

2

室町政府の力衰え　信長の統一ま

一方幕中ははっきりと陰に~~変~~即ち政権の
府が中は空白になっていたはってあって
が、その時は天下麻の如く乱れ人は
この時代を戦国の時代と云っている。
旧政権の力が衰えている訳ではなくても
新らしくより強い政権が現れて
旧政権を駆逐した様な場合には
天下に政権の空白が存したのではな
い。そんな時には世が乱れるとあまり
し起らない。天下を統一する強い政
権が存している時は善政であっても
悪政であっても世は暗黒にはならぬ

すなはち統一政権が空白になれば直ちに世は戦乱暗黒の時代となると云ふ事は多くの政権の引きつぎの時の事情を見てあれば直ちに肯けられよう。国民は世が絶平安でなくなるのは誰れも欲し得ないのであるから、国民は覇王の出現を望みその治下に安んじたいとねがふの~~女~~は、一つの世にもあつたのであろう。国民は政治されることを嫌ひ支配されることを本質的に希望しつつあるのであります

4

までは云えるかも知れぬが、少くとも止むを得ないとしてよろこんで統治者の治下にいて安堵しないというのは心の[illegible]を持たない。むしろ統治者をよろこんで迎えるの支配に服する。人は皆同じく人であるから、人に支配されることを嫌か権治するかし一層考えなるか。世の乱れるるを恐れずは甚だ[illegible]であるから、よい統治者の支配にはよろこんで服くのが常であろうと思う実際問題として服するも服したこともな

いものが瞞せするをなさいのである。天下に王たる人は一族の中で王位に立ち一村の中で或位、一郡一国で或位若しくは天下で或位となるので平民一人々の力の大きさは比較にならぬのである。天下に王たる人は平民から一躍に王になるのではない。

王たる人が逝くに出現するから王位の空白時はないとも云えるが、空白になることを国民は甚だおそれ、王位が空白になることを国民は甚だしく不安に思ふから、王位は[illegible]に

中絶されることなくつがれて行く。日系の創成せし年で以来この事情はずっとつづいて来たのであろう。（即ち統治者のになう者がなくなれば）王位が空白になればその一寸の隙があっても様への悪口をなすものが出たら現はれ世はたちまち混乱するということを人々は何ろしくも知るところで経験したのであろう。統治文化は中絶する時はなかったのである。

「書經と統治文化

書經は古代の王道を述べた古典。東洋における統治文化の源流形成に大きな力となつたと思はれる。支那の昔の帝王の治績、言行等の記録であり、後世に及ぼした影響は極めて大きい。特にその中の一篇「洪範」は周の武王が亡ぼした殷の三仁の一人箕子を訪ねて、天下を治める道を問うたのに答へて箕子が説いたのがこの洪範一篇の内容で、要旨である。書經を貫く精神は民になさけ深い政を布い王者がつくして天下を安泰にするといふことである」。

書經が~~かなりには周~~の日本の古代の統治思想にどんな影響をしたか不明だが

日本における統治者は始めからこんな教えに耳をかたむけて居たのであろう、治山治水の道、人の和の道など通じて天下を平泰にする事を教えている。

書経を読めば東洋の古来の王道の伝統を知ることが出来る。

三七、七、一八。

一 国民所得の研究についての要旨
慶應義塾大学での研究発表
の要旨

私は機会に於ける国民所得の研究を進めつつある。この発表は研究の途中に於ける一中間報告である。此研究の最後の結論を見るまでには尚数年月を要するであろうであるが、既に研究何をなすべきについてもあるの。本研究における私の態度、本研究に於ける私が考える本研究における近代経済学の研究の方法論、新開する経済学的概念下に於て決定しているものである。一応述べる問題点統治政策を経済国体として実際的に称するのである。本論文は遡上することなる主権と統治構造の概念。

この発表において私が今日述べる国民所得の研究の中心問題であるこの研究は、学問的に重要なものであるがつかほど他の経済的分野にすぎないのではないか本研究は従来の物の概念、所謂論者はおいては単なる物質的な理解、説明であり経済学的概念に於ても未だ充分でなかったものもあった。遡及しつつある問題を総合的に解決して来た。

出来上った作用は要するに実際に於ける関係を同時に所謂関係に於ける事物を説明にかけ議論を尽す。

要するに文化的構成統一としての国家に個性をもたしめるものであるかは宗教的精神の結果である。

人間は何かの形で統治は一日も欠く然し言語が違ふ人々である様に統治ことの出来ぬもの、言葉ではなし得ぬ文化し違ふ人々の分る事は止めるか。素晴らしい。説明の様に依て統治は人に納得さる然し軍国時代では他郷を要求すれば統治は決して武力では久しくもつものかつてない。統治構造の内側にある事もしのかどうか統治は意味を理解して来た経営の内容

統治には民族的仲帳は要るか。方の轍は一つである。日本が最も以上

為に断じて民族の別とは合統治がに国家を根拠した。王権者に偏い

人間には思想の文化である。これは何統制する部分的概念で時には注意し（職務を立てた。）

れの民族は尊重して居る。王統治が既ておかなければならない概念は

力を異にして居ても不可避であるに的な精神構造「生活精神構造」なる集團

統治民族征服時代とは何時からのか。自覚とした民族国家は「生業」と「生活」機圏

の過程か。であるのである。

我作の急は

一、日民族の民族精進の国家提唱

二、交流の環状線路線の提唱

三、

民族的相互の民族平和ニ寄与する
るは其の完成的形態としての唯一絶対
路である。

九月十日

一、反乱の力なす口民に対して行ふ政道（王者の道が）

二、王者は武力によつてか或はまつりによつてか絶対権力の座について自分の個人的満足は満ち足りている者、王道は

かくの如き王者者が考える生活面生産の道

武力による平定の情態にまで導くのは政治の準備段階に必ず必要。武力による反乱の憂いが強くなつてから政治が始まる。軍政は政治ではない。政治は永久の存続発展を予想する。現状の再生産又は発展的再生産を予想するものである。

政道の要綱

（一）治山治水、（自然生活安定）人の和（社会生活安定）（以上書経法経の教え）

（二）殖産興業、（工業による生活安定）（国民の）

（六）交流道路の確立は一、二、三、（四）実行する

（三）税収による生活安定（国民の）

（四）治安の道、兵力の維持

（五）外交及び攻防兵力

九月九日

統治なき社会

終戦当時外地にいて引揚げるまでの期間は日本人は何時誰にも統治されなかった。日本の統治下にはあったのであろうか。統治する力が少くとも保護する力も持っていなかった日本の政府に経営も たよろうとし出来ずして、私等は自ら保安の為に自力で生きてゆかなければならなかった。

団の保護からは離れて自分で自分の生活を守る事の如何に不安定な[illegible]におかれるものであるかを体験した。

武器をかくしていないかどうかが調べられに朝鮮人の青年達が数人が組み

乱

になって書つけ離つた家の内に一角して守
内隅なくさがしまわるようわされたが
ぶ~~兵隊~~ていた。手当は殆朝鮮人の逃亡されたたか
ら、朝鮮人~~の大半~~から乱暴されたり
とりつく島がなかった。日本の軍隊が全体
をいきあげようとするのを知った時下陣地に
残される心ぼそさを感じた。
保護するはずの日本に見離されたし
その日本が優勢で強力であることを
切に念じた。
国際的に国民を保護することが国家
の機能の一つであることは明らかである。

15

それと同様に国家生活においても暴力や不正から国民を保護する事も国家の使命や機能の一つである。それ故国民が又国家に親しみをもつのである。生活の安全の為に法的保護を解かるや生理学の実験の為に天然の道を拓くするや生学や生活への指導略を解するは又国民の親しむところである。

国家の存在は国民が切に願むところであることを認める事が出来る。一口でいえば国家生活はかえがたいので国民は

国家への帰属を選んで望んでいる

国家は為政者が国民に強制しているもの

のではなく、国民が作り出すものである

と思ってよい。

明治政府の専制政府等の維持内容
犯罪人の検挙は無力な政府の維持
勅令の検察、対外関係の検察

周の武王は亡ぼした殷の三仁の一人箕
子~~主道を守る大本~~。
を訪ねて天下を治める道を問うた。
それは答えて箕子が述べたのが書経中の
洪範の一篇であり、その内容 天下を治める道を
九ヶ條に分けて説いている。王道なる
語が用いられている。
要は情理をつくして国民になっとくさして
天下を安泰にする道である
（これが王道）

新政府の政道

新政府は~~兵~~兵力によって天下を掌握
した。政道はどこから学んだか。旧政府の
慣行に従った。一つの時代の新政府は
前の政府の慣行を踏襲したのでは
ないであろうか。
大化の改新の際には旧政府ではなく
唐の政治に学んだ。
鎌倉幕府の新政府、室町の新政府
徳川の新政府、明治維新の新政府
においては旧政府は如何に踏襲されて
たか。

南原氏の政治思想史

氏は大学で西洋の政治理論史であつて東洋の政治思想が含まれていないのは残念である。日本の政治思想は今日においても中国の古代の政治思想に影響されているからである。中国古代の政治思想史をよそにしては今日の日本の政治の多くの説明は困難である。

97

パーソンズの社会統制の理論

行為者ーの目標所与目的動作と制度の相関的均衡によって社会構造の均衡を説明せんとする教へはパーソンズによって補正されている。日本の基本の前に日本への要素も考察するマキーバーの考へも見落してはならぬ。

社会学研究50 山田の社会統
制の機能と考明

特に ヴェーバー「支配の社会学」一 P.123

官僚の不屈の力

マクス・ヴェーバーの支配の社会学の内で最も感嘆したると云うは官僚に対しては如何なるヘルも専門家に対する素人の様に無力である。組織的に整えつゝ、~~明~~いえるである。

官僚制が専門的部門組織へなっている、相互に秘密を交え外部に対して秘密主義。中央官僚の力は一人の手中に集中する。その一人は首相その首相は政党毎に代る。

[illegible]的に政府の権に統一する中心所謂、中心は官僚團以外になく、

21

社会構造と云ふ語について

社会構造と云ふ言葉がマートンの用語によつて一般に決定されてゐるよう。私はこの語を用ひないで他の用語を探さうと思つてゐる。

柳田の社会史論の支持をなしている集団は世帯と親族、村落でありそれらの命題は歴史的にも地域的にもかなり妥当する範域の広い命題である。この命題は誰人も否定し得ないと思ふが、それを柳田の社会構造といへばマートンの語法によれば正当でない。故に私は

23

それを都市の巨大な構造とは異なっで~~本~~都市空間の基本的構造と呼ぶことにする。

マートンの社会構造の考へによって追及していくべきはワースの都市社会構造の出来上りの何んとをさくしているのですか。

「カ緒乃の口家自体の考へ（口民社会の研究 愛宕蒋介四学、直巻手八巻）の口家自体の考へとしこて考察すすのである。そこでは自家自体とその機関とが分かれている。

口民の立場を中心として考へると

口民者は主権者共同団体で

あり、土地共同団体である。

土地を共有して占~~拠~~有してゐる人にいか

~~共同の~~統治者~~（統治）~~たはるかを

口子と統お

物術部 口家の統治をかはしたいのが若を共同の

口民と口家の別、口民（社会）と口民社会の別、

口民社会と民族の別、口民社会とコミュニティー

口民社会と社会主

口家は口民社会の上にあるアソシエーションの一つである。然し口民社会は完全に口家の上にある。

口民は口家との関聯において人々の一団の義である。口民は口家と関聯のない多くの潮流を持っている。

一つの民族は口民の一部である場合もあり、二つ以上の口民を含む場合もある。一つの民族は一つの口民の範囲であるとは限らぬ。

コミュニティーは共同体としての地域社会

社会体は

口民社会は土地共有団体である

9.26 口民社会は口家共同団体である。